

		WS-1(6212)	WS-2(6213)	WS-3(6203)	WS-4(6215)
8/30 (月)		プロジェクト型ソフトウェア開発演習の現状と今後の展望	ソフトウェア計測とその活用	形式手法の産業応用に向けて	ソフトウェアのパターンとアーキテクチャ・アジャイル開発

		A会場(6210)／D会場(6202)	B会場(6203)	C会場(6204)	
8/31 (火)	10:15 12:00	オープニング、基調講演 1 [A会場:6210 教室] 【司会】 紫合治(東京電機大学) 「クラウドコンピューティング時代のソフトウェア革命」 及川卓也(グーグル)			
	13:00 14:30	チュートリアル 1 [D会場] 「ソフトウェアプロダクトライン」 岸知二(早稲田大学) 【司会】 野田夏子(NEC)	セッション 1: プログラム理解 【座長】 吉田敦(南山大学) [研究論文] 「Feature Location を用いたソースコード理解の対話的支援」 関根克幸, 林晋平, 佐伯元司(東京工業大学) [レター論文] 「リファクタリングの抽出・適用によるソースコード差分の理解支援」 タンタムマツシシリナット, 林晋平, 佐伯元司(東京工業大学) [レター論文] 「利用者で行う処理の追加設定を支援する表現属性の相互作用に基づく処理理解モデル」 古宇田フミ子, 近山隆(東京大学)	セッション 2: 要求分析 【座長】 白銀純子(東京女子大学) [研究論文] 「要求工学知識体系(REBOK)の開発と評価」 青山幹雄(南山大学), 中谷多哉子(筑波大学), 齋藤忍(NTT データ), 鈴木三紀夫(TIS), 中崎博明(富士通エフ・アイ・ビー), 藤田和明(日立システムアンドサービス), 鈴木律郎(情報サービス産業協会) [研究論文] 「業務改革に向けた現場要求を把握するための技法～エスノコグニティブインタビュー・分析～」 矢島彩子(富士通), 平春雄(FUJITSU ユニバーシティ) [研究論文] 「ゴール指向分析法による要求獲得時のテスト可能性確認の提案」 沖汐大志, 妻木俊彦(日本ユニシス)	
	14:50 16:20	チュートリアル 2 [D会場] 「ソフトウェア開発における法的紛争と契約書・構築過程の可視化の重要性」 北岡弘章(きたおか法律事務所) 【司会】 羽生田栄一(豆蔵)	セッション 3: マイニング 【座長】 林晋平(東京工業大学) [研究論文] 「要求・設計資産からのプロダクトラインアーキテクチャ抽出」 熊木健太郎, 鷲崎弘宜, 深澤良彰(早稲田大学) [経験報告論文] 「スコーピング支援のためのソフトウェア類似性分析手法の提案」 岸本康成, 坂本啓, 市川裕介, 佐藤宏之, 小林 透(NTT 情報流通プラットフォーム研究所) [研究論文] 「リポジトリ再構築によるメソッドトレーサビリティの実現」 畑秀明(大阪大学), 水野修(京都工芸繊維大学), 菊野亨(大阪大学)	セッション 4: 信頼性 【座長】 花川典子(阪南大学) [研究論文] 「サービス指向車載ソフトウェアのリアルタイム協調サービス制御の設計方法と評価」 永東文寛(デンソー), 青山幹雄, 中道上(南山大学), 佐藤洋介, 岩井明史(デンソー) [研究論文] 「Dependability Cases を用いたソフトウェアの運用時検査法」 中田晋平, 平岡裕太郎, 五嶋壮晃(横浜国立大学), 菅谷みどり(科学技術振興機構), 倉光君郎(横浜国立大学) [研究論文] 「Case Wiki: 組織を越えたDependability Cases 構築システム」 平岡裕太郎, 中田晋平(横浜国立大学), 菅谷みどり(科学技術振興機構), 倉光君郎(横浜国立大学)	
	16:40 18:10	チュートリアル 3 [D会場] 「クラスタリングによるデータ分析の手法」 神島敏弘(産業技術総合研究所) 【司会】 小林隆志(名古屋大学)	チュートリアル 4 「fault-prone モジュール予測技法の基礎と研究動向」 野中誠(東洋大学), 水野修(京都工芸繊維大学) 【司会】 阿萬裕久(愛媛大学)	招待発表 【司会】 山本里枝子(富士通研究所) [ICSE2009] 「Using a Validation Model to Measure the Agility of Software Development in a Large Software Development Organization」 居駒幹夫(日立製作所) [ICSE2010] 「Archface: A Contract Place Where Architectural Design and Code Meet Together」 鶴林尚靖(九州大学) [AOSD2010] 「Type Relaxed Weaving」 当山学(東京大学)	
	18:30	情報交換会 (16F スカイホール)			

		A会場(6210)／D会場(6202)	B会場(6203)	C会場(6204)	
9/1 (水)	10:00 11:30	基調講演 2 [A会場:6210 教室] 【司会】 野中誠(東洋大学) 「ソフトウェアエンジニアリングにおける「場」づくり」 松本吉弘(京都高度技術研究所)			
	13:00 14:30	チュートリアル 5 [D会場] 「形式概念分析とは何か ～その理論的背景と応用事例～」 鈴木治(浜松大学) 【司会】 鹿兼秀行(日立製作所)	セッション 5: メトリクス 【座長】 山本晋一郎(愛知県立大学) [研究論文] 「インパクトスケールを用いた大規模ソフトウェア保守の障害予測」 小林健一, 松尾昭彦(富士通研究所), 井上克郎(大阪大学), 早瀬康裕(東洋大学), 上村学(富士通研究所), 吉野利明(富士通) [研究論文] 「工程管理表のフラグメントプロセスに基づくソフトウェア開発プロセスの複雑さのメトリクス」 尾花輝輝(奈良先端科学技術大学院大学), 花川典子(阪南大学), 飯田元(奈良先端科学技術大学院大学) [レター論文] 「オープンソースソフトウェアにおけるコメント文記述とフォールト潜在率との関係に関する実証的考察」 阿萬裕久(愛媛大学)	セッション 6: テスト 【座長】 川口真司(有人宇宙システム) [研究論文] 「テストカバレッジに基づく重複テストコードの検出ツール」 坂本一憲(早稲田大学), 和田卓人(タワーズ・クエスト), 鷲崎弘宜, 深澤良彰(早稲田大学) [研究論文] 「クラス間関係を利用した単体テストおよび静的検査の網羅率可視化手法」 武藤祐子, 岡野浩三, 楠本真二(大阪大学) [研究論文] 「ドメイン特化型開発におけるテストケース自動生成手法の提案と評価」 森奈実子(東芝), 久住憲嗣, 中西恒夫, 福田晃(九州大学)	
	14:50 16:20	ミニパネル [A会場:6210 教室] 「『ソフトウェア開発データ白書』に対する産学の期待と今後の展開」 [パネリスト] 山下 博之, 秋田 君夫, 三毛 功子(IPA/SEC), 阿萬裕久(愛媛大学), 吉村健太郎(日立製作所) 【司会】 野中誠(東洋大学)	セッション 7: プログラム解析 【座長】 飯田元(奈良先端科学技術大学院大学) [研究論文] 「属性付き文句系列に基づくプログラム書換え支援環境の試作」 吉田敦, 蜂巣吉成, 沢田篤史, 張漢明, 野呂昌満(南山大学) [研究論文] 「コードクローン検出に必要な計算コストの削減を目的としたプログラム依存グラフ頂点集約法の提案」 肥後芳樹, 楠本 真二(大阪大学) [研究論文] 「CASE ツール・プラットフォームのための C ソースプログラムの XML 表現とその応用」 瀧美紀寿(名古屋大学), 山本晋一郎(愛知県立大学), 小林隆志, 阿草清滋(名古屋大学)	セッション 8: 形式手法 【座長】 中島震(国立情報学研究所) [研究論文] 「図式モデルのための形式仕様記述への変換方法と支援ツールの開発」 村上 祥平(日立アドバンスデジタル), 小飼 敬(茨城工業高等専門学校), 上田 賀一(茨城大学) [研究論文] 「Jackson の要求・仕様参照モデルに基づく要求追跡の形式手法」 北村 崇師, 岡本 圭史, 武山 誠(産業技術総合研究所) [経験報告論文] 「ビジネスアプリケーション開発における追跡可能性構築への取り組み」 大橋 恭子, 栗原 英俊, 田中 ユカ, 野津 昌弘, 山本 里枝子(富士通研究所)	
	16:40 18:10	クロージングパネル [A会場:6210 教室] 「ソフトウェア開発・ソフトウェア工学は楽しい!」 [パネリスト] 大槻繁(一), 玉井哲雄(東京大学), 中谷多哉子(筑波大学), 羽生田栄一(豆蔵) 【司会】 丸山勝久(立命館大学) クロージング CS 領域奨励賞表彰式	ポスター展示 <ul style="list-style-type: none"> 「64bit 版モデル検査器とモデル検査 Web システム」 早水公二(メルコ・パワー・システムズ) 「統一的表现に向けた仕様記述表現」 阿部睦(トヨタ IT 開発センター) 「状態遷移表によるプロセス間相互作用のモデル化と検証」 小池隆(富士ソフト) 「テストカバレッジに基づく重複テストコードの検出ツール」 坂本一憲(早稲田大学) 「コルモゴロフ複雑性に基づく文書間の整合性確認」 藤原由希子(NEC サービスプラットフォーム研究所) 「Web アプリケーション開発における脅威と攻撃の関連付けによるセキュリティ要求獲得手法の提案」 清水啓人(東京学芸大学) 「デバッグを支援するための関心事指向推薦システム」 塩塚大, 鶴林尚靖(九州工業大学) 		